



第十六回

九島院 修養会

~ 秋の奈良・宇陀路を満喫
蓮昇寺(黄檗宗 山寺)と温泉を満喫 ~

平成22年11月3日(祝)

-1-

旅程表



九島院 8:30出発	本田IC (阪神・西名阪・名阪国道)	針テラス(休憩) 10:10
黄檗宗 蓮昇寺(拝塔) 10:40 ~ 11:20	奥香落山荘(昼食・露天風呂入浴可) 12:10 ~ 14:30	
曾爾高原 散策 14:50 ~ 15:50	針テラス(買物) 16:50 ~ 17:20	
名阪国道・西名阪・阪神高速	九島院 19:00 (予定)	

-3-

ご挨拶

当院第16回修養会にご参加頂き有難うございます。

本年は、奈良県宇陀市榛原にある、黄檗宗寺院 蓮昇寺を 拝塔いたします。お昼は、近隣にある一軒しかない温泉宿『奥香落山荘』にて昼食をとり、温泉でゆっくりしていただきます。その後、すすきで有名な曽爾高原を訪れます。

秋天の下、奈良・宇陀路を堪能いたしましょう。

合掌



当院第廿五代住職 奥田啓知 九拜

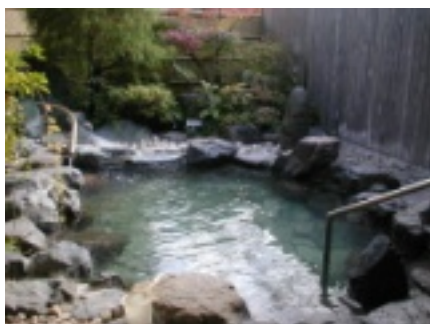
-2-

奥香落山荘(昼食)

室生、青山、赤目国定公園内にあり、緑と渓谷に囲まれ、近畿の秘境として親しまれています。沢の鶴酒造の前会長の肝入りで開設された温泉旅館で、緑深い山々にゆったりと佇む静寂な宿です。天然温泉でもあり、泉質は炭酸水素塩泉。露天風呂『星の露天風呂』につかり静かさもとります。料理はすべて自家生産のため、新鮮でおいしくいただけます。

〒633-1212 奈良県宇陀郡曽爾村今井1037

0745-94-2231



見どころ

黄檗宗 大光山 蓮昇寺

大光山「^{れんしょうじ}蓮昇寺」は、黄檗宗の末寺です。創立は、寺伝によると室町初期。約590年前の応永年間には開創されていた。当時は、真言宗でした。

本尊の台座裏に応永23年(1416)の墨書銘があります。

宝永4年(1707)に河内国法雲寺開山^{えごく}恵極禅師の高弟である^{たいそう}泰宗禅師が入寺して黄檗宗に改められ、宝永5年(1708)本堂庫裏を再建しています

明治7年頃に廃寺処分となりますが、11代大雄禅師(後に黄檗宗46代管長)が、処分取り消しをして、大正13年 現在の地に再建されました。現在の本堂・庫裏は昭和62年に修復されました。

平成19年現住職 関正胤 師就任。現在、山門及び整備事業進行中。

本尊；薬師如来坐像
脇仏；日光 月光両菩薩

〒633-0232 奈良県宇陀市榛原区池上254 0745-82-1706

-6-



曾爾高原

静かな曾爾川の流域に開ける曾爾村。
奈良県の東北端に位置し、三重県境に接する村です。
村の大半を占める山地は室生火山群に属し、西側の岩肌もあらわな鎧岳、兜岳、屏風岩などの珍しい柱状節理の美景は国の天然記念物に指定されています。

また、東に位置する俱留尊山、亀山、古光山などのならだかな山々とその山麓に開ける雄大な曾爾高原一帯は室生赤目青山国定公園に指定されています。
村内は南部を国道369号が横断し、中央を流れる曾爾川に沿って走る県道名張曾爾線は、香落溪から三重県名張市に通じ、また、県道赤目掛線によって赤目四十八滝に通じています。
東京から約4時間、大阪からは約1時間50分で訪れることができ、京阪神からは気軽に足を伸ばせる絶好の高原リゾートです。

曾爾村のおみやげ品



場所：奈良県宇陀郡曾爾村大字太郎路



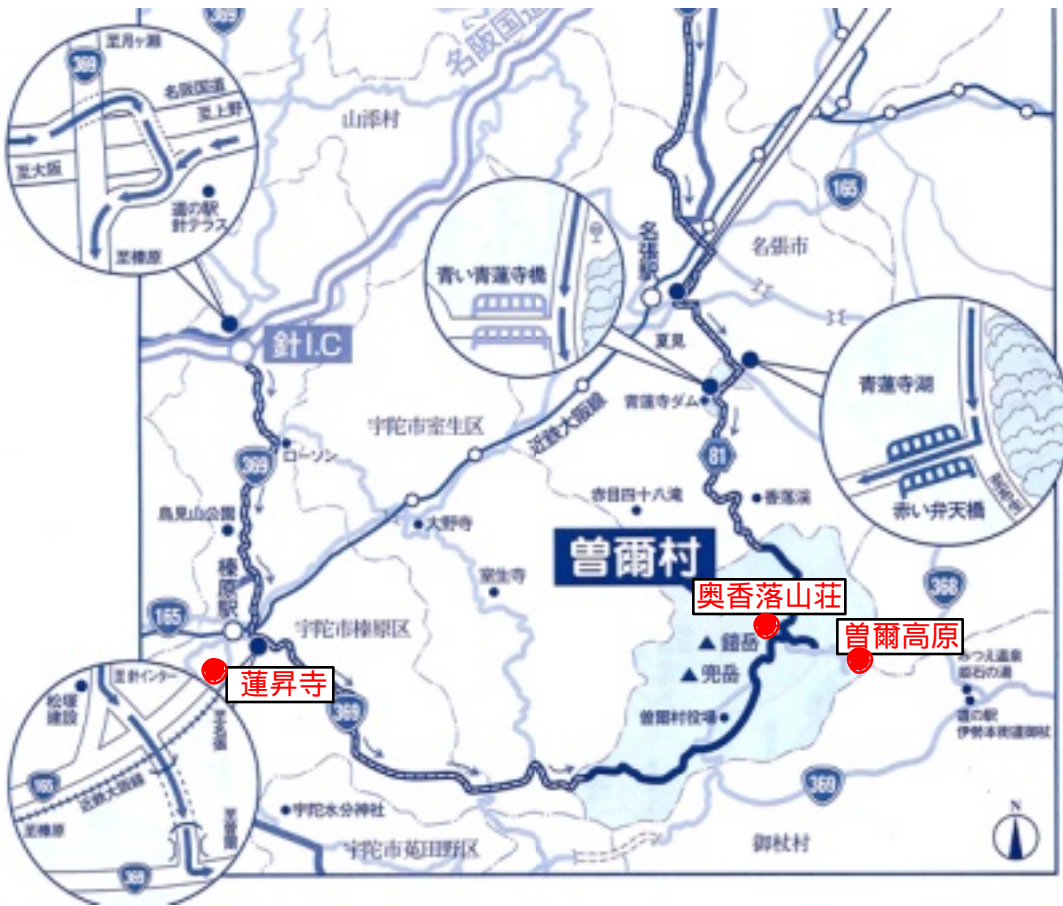
ヤーコン

(アンデス原産のキク科のイモ)



曾爾高原ビール

-8-



摩訶般若波羅密多心經

觀自在菩薩 行深般若波羅密多時 照見
 五蘊皆空 度一切苦厄 舍利子 色不異
 空空不異色 色即是空 空即是色 受想
 行識亦復如是 舍利子 是諸法空相 不
 生不滅 不垢不淨 不增不減 是故空中
 無色無受想行識 無眼耳鼻舌身意 無色
 声香味觸法 無眼界乃至無意識界 無無
 明亦無無明 乃至無老死 亦無老死盡
 無苦集滅道 無智亦無得 以無所得故
 菩提薩埵 依般若波羅密多故 心無罣礙
 無罣礙故 無有恐怖 遠離一切顛倒夢想
 究竟涅槃 三世諸佛 依般若波羅密多
 故得阿耨多羅三藐三菩提 故知般若波
 羅密多 是大神咒 是大明咒 是無上咒
 是無等等咒 能除一切苦 真實不虛 故
 說般若波羅密多咒 即說咒曰 羯諦羯
 諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦 菩提薩婆訶
 般若心經

普回向

願わくばこの功德を以って 普く一切に及ぼし
我らと皆共に仏道を成ぜんことを
十方三世一切の諸仏諸尊菩薩 摩訶般若波羅蜜

(食事の前に読むお経)

五観の偈

一つには功の多少を計り彼の来處を量る、
二つには己が徳行の全闕を付って供に應ず、
三つには心を防ぎ過貧等を離るるを宗とす、
四つには正に良薬を事とするは形枯を療ぜんが為なり、
五つには道業を成ぜんが為めに正に此の食を受くべし。

意味

一つ…この食物が食膳に運ばれるまでには、幾多の人々の
労力と神仏の加護によることを思って感謝します。
二つ…私どもの徳行の足らざるに、この食物を頂くことを過分に
思います。
三つ…この食物にむかって貪る心、厭う心を起こしません。
四つ…この食物は、天地の生命を宿す良薬と心得て頂きま
す。
五つ…この食物は道業を成ぜんが為に頂くことを誓います。

今後の行事予定

12/31(金) 23:00 大晦日恒例 坐禅と除夜の鐘

3/23(火) 13:30 春のお彼岸法要 (山門会)

3/26(土) 15:00 写経会 (参加費 ¥1,000)

4/ 上旬予定 花まつりヨガ (参加費 ¥500)

1/21(金) 10:30 体験学習『禅』体験坐禅も行います

(主催: NPO大阪府高齢者福祉大学)

2/12(土) 16:00 写経と精進料理の夕べ

(四天王寺客殿 ¥3,000 主催:大阪市仏教青年会)

4/5(火) 13:00 花まつり子ども大会 (KFC大阪中央 主催:大阪市仏教青年会)

ご参加ありがとうございました

大阪市史跡・龍溪禅師墓所

黄檗宗 靈龜山

九島院



ホームページ [九島院](#)

[検索](#)